



年 組 名前

道新でワークシート

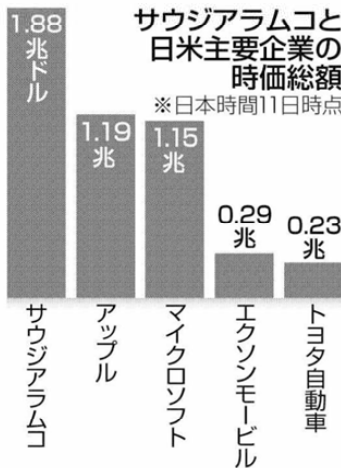
サウジ国営石油時価204兆円

世界最大 新規上場ストップ高

【ロンドン共同】サウジアラビア国営石油サウジアラムコは11日、サウジ国内の証券取引所に株式を新規上場した。取引開始時に売り出し価格から10%上昇、値幅制限の上限であるストップ高の35・2リヤル（約1020円）に達し、そのままこの日の取引を終えた。時価総額は約1兆8770億リヤル（約204兆円）となり、1兆ドルを超える米アップルなどを抜いて世界最大となった。今後は国外市場での上場が焦点で、東京証券取引所も候補として取り沙汰されている。



サウジアラムコの貯蔵タンク。9月、サウジアラビア西部ジッダ（AP）共同



アラムコは発行済み株式の1・5%を売り出した。調達額も250億ドルを上回り、2014年に上場した中国電子商取引最大手アリババグループを抜いて史上最大だ。

ロイター通信によると、アラムコのルマイヤン会長は11日、上場に先立ってアラムコの企業統治と透明性が高まる」と意義を強調した。

ただし、中国経済の減速や新型コロナウイルスの生産拡大を背景に、原油価格は伸び悩んでいる。地球温暖化問題への関心も高まる中、投資家の石油企業に対する見方は厳しくなっている。投資に充てる考えだ。

ムハンマド皇太子は経済改革の柱に掲げる上場について「中長期的な経済の多角化と雇用率の向上につながる」と説明。調達資金を石油依存から脱却するため、投資に充てる考えだ。

国外上場を巡っては、米紙ウォールストリート・ジャーナル電子版が日本や中国が上場先の候補になりそうだと報じた。来年本格的に検討に入るといわれる。

サウジは国民に対し180日間の保有を条件に10株当たり1株の「ボナス」を与える措置を導入するなど、アラムコの上場成功に国家の威信をかけてきた。

時価総額はムハンマド皇太子が目指していた評価額2兆ドルをにらむ。

サウジアラムコはサウジアラビア国営で世界最大の石油会社。1933年に米石油大手が前身となる会社を設立。80年にサウジ政府が100%子会社化した。2018年12月期の純利益は約1110億リヤル（約12兆円）で世界最大。18年の原油生産量は、世界需要の1割程度に当たる日量1030万バレルだった。石油化学分野の強化など多角化や海外進出を進めている。（ロンドン共同）

2019年12月12日（木） 朝刊 全道遅版 経済10P

①原油価格が伸び悩み、投資家の石油企業に対する見方が厳しくなっている理由を、記事を読んで考えてみましょう。

②今後、サウジアラビアはどのように経済を改革していくと考えられますか。記事から考えてみましょう。